

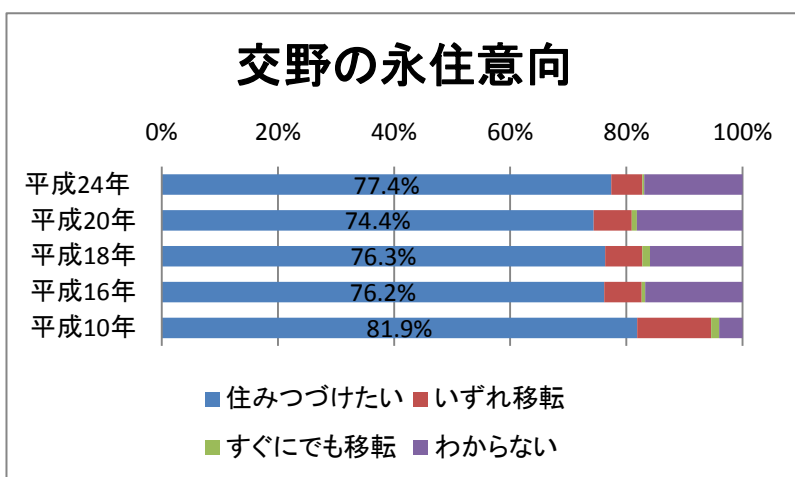
市民満足度アンケートの結果をお知らせ

24年5月に、将来のめざす姿や現状の暮らし、教育に対する意識を調査し、今後の活動目標や成果指標とするため実施した「第4回 市民満足度に関するアンケート」の集計結果の概要をお知らせします。

□調査の概要

- 調査対象: 無作為に選んだ20歳以上の市民2,000人
- 調査方法: 郵送による配付・回収
- 回収率: 34.6%

□交野市に住みつづけたいですか

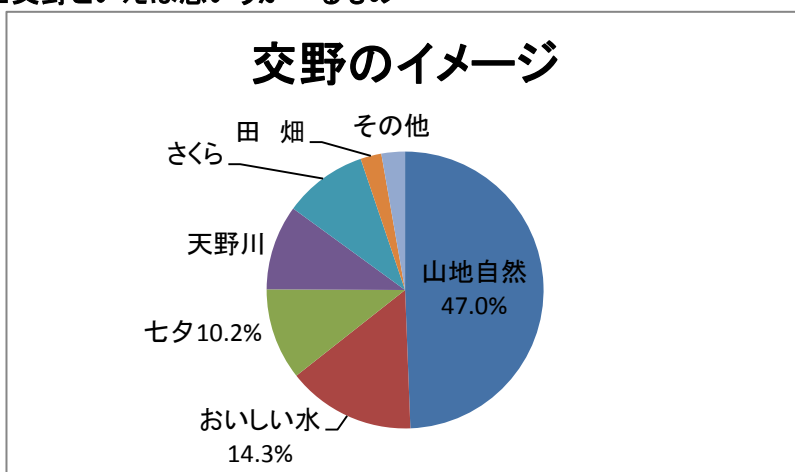


4人に3人が交野に住みつづけたいと回答。

経年変化では、今回は平成10年よりは減少しているものの、永住意向はおおむね横ばい傾向で推移。

交野での居住年数が長くなるにつれ、永住意向が高い結果。

□交野といえば思いうかべるもの

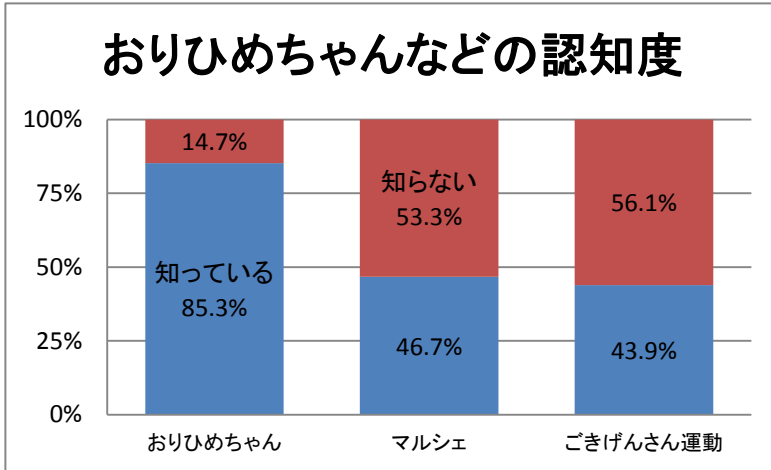


交野のイメージは「山地自然」が約半分を占め、おおむね2人に1人が回答した。

以下、「おいしい水」「七夕」とつづく。

倉治地域は「七夕」、いわふね地域は「山地自然」との回答率が高い傾向にある。

□おりひめちゃん、マルシェ、ごきげんさん運動を知っていますか

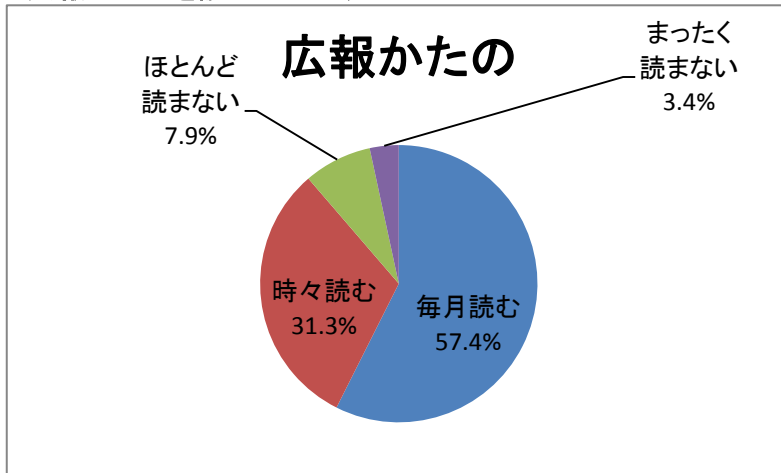


おりひめちゃんは、8割以上の人が知っている。マルシェとごきげんさん運動は知らないが5割を超える状況。

3つのいずれの認知度とも、女性の方が男性よりも上回る結果。

おりひめちゃんの認知度は、子どもがいる世帯の方が、子どもがいない世帯よりも高い傾向。

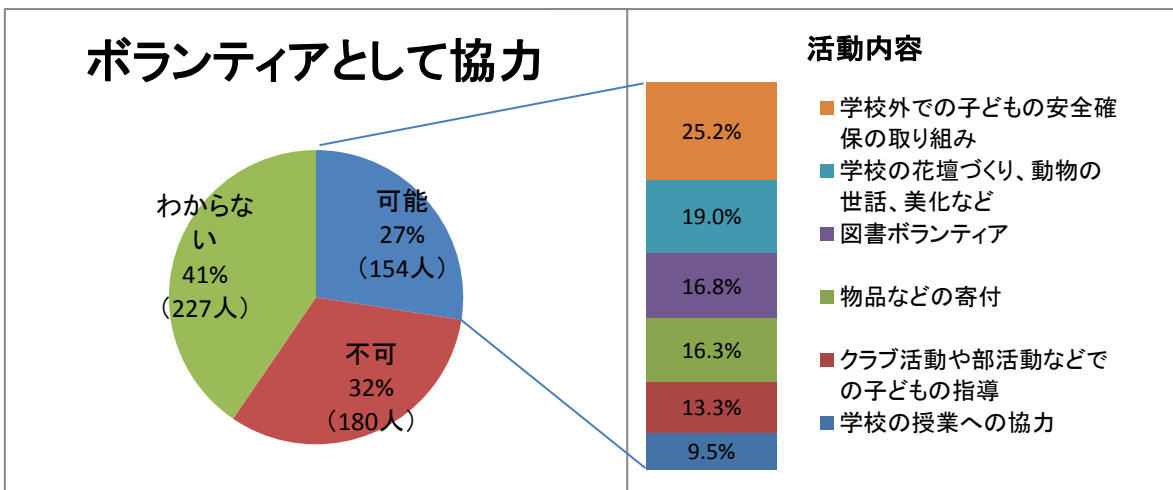
□広報かたのを読んでいきますか



「広報かたの」は、約6割が毎月、約3割が時々読んでいるが、約1割の人は読んでいない。

女性の方が、男性よりも「広報かたの」を読んでおり、20・30歳代は他の年代と比較して読まれていない状況となっている。

□小・中学校でのボランティア活動



□“かたのサイズ”をめざす像の関心度と満足度

82の“かたのサイズ”をめざす像について、関心度と満足度の視点からアプローチし、次の4つの領域に区分しました。

特に、左上側の「関心が高いが満足度は低い」項目として、次世代育成や安心・安全の確保へのニーズが上位にあがっており、最優先して取組むことが効果的・効率的と考えています。

かたのサイズとは、一人ひとりのサイズがつながってまちを形づくることと定義。

<p>関心が高いが満足度は低い</p>	<p>関心が高く満足度も高い</p>
<p>○子どもたちの未来に明るい希望がある</p>	<p>○体の中から健康でいたいので、食を大切にしている</p>
<p>○子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている</p>	<p>○住み慣れた家で暮らし続けることができる</p>
<p>○道路や公園など生活環境がきれいに保たれている</p>	<p>○暴力や虐待のない、思いやりのある暮らしをしている</p>
<p>○安心して歩くことができる環境がある</p>	<p>○山も里も四季折々の景観が楽しめ風情を感じる</p>
<p>○災害や事故、急病時の迅速、適切な対応に備えている</p>	<p>○おいに誇れるおいしい水道水が毎日飲める</p>
<p>関心が低く満足度も低い</p>	<p>関心は低いが満足度は高い</p>
<p>○まちなかの空き地や空き家をみんなで有効に活用している</p>	<p>○一年を通じてイベントがあり、それがつながりあっていて面白</p>
<p>○暮らしに関する取り組みがビジネスを生み出している</p>	<p>○自ら興味や問題意識を持ってすすんで学んでいる</p>
<p>○事業をしている人同士が連携し、事業活動を活性化している</p>	<p>○農とふれあう機会があり、農業が身近に感じられる</p>
<p>○外国の人や異なる文化と交流し、理解と友好を深めている</p>	<p>○地域ごとに豊かな個性があり、地元へ愛着を持っている</p>
<p>○新たな物語や話題などが、まちを舞台にして生まれている</p>	<p>○スポーツを通して、仲間意識を育み感動を分かち合っている</p>